

防府市高齢者保健福祉推進会議 会議録

令和 7 年 2 月 1 3 日（木）午後 2 時～ 3 時 3 2 分

場所：防府市役所本館 共用会議室 2 A

報告事項

（１）地域密着型サービス事業所の指定更新について

事務局より資料 1 に沿って説明

- ・前回会議以降の指定更新 4 事業所の概要を説明

- A 委員 グループホームの休止の理由は？
- 事務局 利用者の確保ができなかったことと従業員の人員不足。
- B 委員 利用者が集まらないということが主たる理由ならば、サービスが十分行きわたっているかということになる。従業員が集まらないということであれば、人の確保を最優先にしなければ要望にも応えられない。どちらが主たる理由と考えるか。
- 事務局 利用の要望はあると考えている。市としては、今後人材確保対に重点を置き施策を進めていく。
- C 委員 指定の更新基準はあるのか。
- 事務局 設備、人員などに一定の基準がある。
- C 委員 休止している事業所は基準に達しているということか。
- 事務局 基準に達している。入所者が他の事業所へ移転が完了した後に休止届が出た。

事務局より資料 2 に沿って説明

- ・地域密着型サービスの施設整備状況を説明

- D 委員 補助には規定があるか。
- 事務局 補助内容を説明。
- A 委員 既存施設への移転か。東圏域から西圏域への移転となるが、東圏域以外の人でも利用可能か。
- 事務局 新規整備となる。圏域による利用者の利用の制限はない。現在の利用者も引き続き利用することができる。
- E 委員 補助は返済義務があるか。
- 事務局 基本的に補助違反等がなければ返済義務はない。

事務局より資料3に沿って説明

- ・第8期最終年度（令和5年度）の計画値と実績値の報告と検証
- ・第9期の進捗状況の報告

D委員 訪問入浴介護はコロナ禍が原因で利用が下がっているとの説明だが他に理由があるのではないか。

コロナ禍の令和3年よりコロナが落ち着いた令和5年の方が利用が減っている。認知症カフェや老人憩いの家の利用者は年々増加してきているが、訪問入浴介護が減少傾向なのは何が原因があるのではないかといことを検証してほしい。

事務局 事業者数が少ないことも要因のひとつと考える。

F委員 訪問入浴はバスタブを持参して利用することになるが、外出ができない、自宅の風呂にも入ることができない方が少なかったということだと思う。事業者が1社しかないということも要因のひとつと考える。

事務局より資料4に沿って説明

- ・保健事業と高齢者の介護予防事業の一体的事業の事業報告

C委員 人口透析と慢性腎臓病の割合が高いという結果だが、本市は以前からこうした傾向にあるのか。

事務局 以前から人口透析と慢性腎臓病の割合は高かった。

事務局より資料5に沿って説明

- ・短期集中通所型サービスの成果報告
- ・意見なし

その他

- ・次年度は、年3回程度の開催を予定している。

会長 防府市では認定率も下がり短期集中通所型サービスといったよいものがあるので活用していただき、認知症になっても安心して暮らせる防府市になるように次年度以降介護人材の確保や育成等にも力を入れるということなので期待している。